



海外 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

登録稲門会 検索

現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

会長メッセージ

欧米やアジアと比較して話題に上ることが少ないオーストラリアではありますが、政治、ビジネスにおいては日本と良好な関係を構築しています。積極的な移民政策により、国民の3割は外国生まれで、文化・経済活動はダイナミックです。我らが稲門会はオーストラリアの最大都市であるシドニーで活動しています。シドニー稲門会は多種多様な経歴を持つ80人を超える会員の集まりです。定例の飲み会では普段接することのない分野の話聞くことができ、毎回新しい発見があります。他校の同窓会

との交流も多く、東西大学ゴルフ対抗戦や早慶戦は大いに盛り上がります。群れることを嫌う校風の早稲田といわれますが、定例会は別物です。親子以上に年の離れた会員などとみんなで歌う校歌の歌詞「集り散じて 人は変れど 仰ぐは同じき 理想の光」は、この地で奮闘している各会員の思いが重なるのか、世代に関係なく心に響いているようです。校友会の皆さま、シドニーにお越しの際はお声掛けください。

定松道也(1987年理工)

会員からのメッセージ

シドニーに駐在して2年になりますが、ここに永住される日本人の方が多く理由が最近分かってきた気がしています。穏やかな気候や食べ物、ワイン、あくせくした雰囲気がないこと、底抜けな明るさ、そして多くの移民を受け入れてきたDiversity & Inclusionの文化のほか、戦没者の慰霊祭などで国籍に関係なく平等に式典が行われるなど、フェアな精神もその一つかと思っています。既に大好きな国になりました。

ビジネス面ではポテンシャルがたっぷり詰まった国だと感じています。オーストラリアはアメリカ合衆国の8割の面積を持ちながら、人口2,500万人の国ですが、移民を中心に人口は増え続けており、そのほとんどがシドニーなどの5大都市に集中しています。この人口の都市集中を背景に、インフラ投資による都市拡大、急速な再生可能エネルギーの導入、農業・鉱業の先端技術導入など、これからの時代が求める事業が今後

どんどん出てきます。「進取の精神、今こそ」です。

齊田忠勇(1988年商学)

2019年のラグビーワールドカップでは日本代表の8強入りが達成され、大盛況のうちに閉幕しました。日本代表は出身国の異なるメンバーが多い、多様性のあるチームとしても話題になりました。シドニー稲門会は多民族国家の中心地シドニーで、国籍・老若男女・職業問わず、会員が「集り散じて 人は変れど 仰ぐは同じき 理想の光」を実践し、活発な交流を図っています。シドニー稲門会は、今後も多様性の国の中心地で多様性のあるメンバーが集まり、各方面に発信を続けます。

森田 洋(1994年人科)

来豪して20年余り、シドニーもシティー近辺に自然の残る素朴な都市から、都会になってきました。我らが稲門会には永住、駐在、学生問わず素晴らしい仲間が在籍しています。年齢、役職関係なく校友というだけで惜しみなくいろいろ話をしてくださる先輩方、新しい会員から受ける新鮮な刺激も満載です。生きた英語を勉強したい方、異文化の中で働いてみたい方、シドニーはまさに最適です。優しい稲門会の方々がいろいろ相談に乗ってくれますよ。

豊田真理子(1994年文学)

シドニー稲門会について

1982年に設立されたシドニー稲門会は、日本からの駐在の方や留学生、ワーキングホリデー制度を利用して自分探しの旅に出られた現役学生、当地に永住されている方々など、常時80人を超える会員が在籍しています。日本人のみならず早稲田に留学されていたオーストラリア人やアジア諸国の方々など、さまざまなバックグラウンドを持つ会員が年次総会、懇親会、ゴルフ大会、各種早慶戦などを通して親睦を深めています。また、シドニー稲門会の卒業生で構成される東京支部では定期的に懇親会やゴルフ合宿を実施しており、帰国後もシドニー稲門会員の交流が続いています。早稲田大学の卒業生、現役学生の皆さま、シドニーにお越しの際は滞在理由や期間を問わず、ぜひお気軽にシドニー稲門会のウェブサイトよりお問い合わせください。

鈴木雄人(1994年政経)



常に50人を超える会員が参加し、余興も必ず勝負する早慶合同忘年会

シドニーの魅力

ヨーロッパ調の歴史的建造物の残る街並みとモダンな高層ビル、緑豊かな公園、フェリーが行き交う港や美しいビーチ。眺めの良いレストランでは、地元の人々がドリンク片手におしゃべりを楽しんでいる……。街と自然が共存するシドニーは、陽気で活気があります。シドニーには約3万3,000人の日本人が暮らしています。「日本」は地元の人々にも人気があり、日本食レストランはもちろん、日本の雑貨や食品も街の至るところで見掛けます。日本に限らず、いろいろな国の料理や文化に気軽に触れることができるのもシドニーの特徴です。週末になると、さまざまな国や地域のアートや映画、料理を楽しめるフェスティバルが街のあちこちで開催されています。ニューイヤーカウントダウンの花火や、街中がライトアップされるビビッド・シドニー、シドニーマラソンに代表されるスポーツイベント、そして真夏のクリスマスツリーの点灯式など、1年を通して楽しいイベントが盛りだくさん。ぜひ、遊びに来てください！

山川遥子(2012年国際教養)



(上)シドニーのシンボル、オペラハウス
(下)60年ぶりに復活した路面電車

(左)一堂に会した稲門会のゴルフツアー

(右)オーストラリアで一番人気のコアラ

